

一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会
関東甲信越支部

アディクション領域における家族支援

ー子ども支援を現場で実践する手がかりー

～間接的にしか子どもにかかわらない人も&子どもにかかわることがない人も～

ASW 関東甲信越支部では、近年の「ヤングケアラー」「子ども家庭ソーシャルワーカー」をはじめとした子ども支援への関心を踏まえて、年度末の支部例会に合わせて家族支援研修を開催します。本研修では、「家族システム論」を超え、特に子どもの影響を語るキーワードとして活用されている機能不全家族・AC・虐待介入・ヤングケアラー・COPMI（メンタルヘルスの課題がある親と暮らす子ども）等について概観しつつ、アディクション問題からの家族の回復に、子どもがおいてきぼりにならないよう、わたしたち ASW が「それぞれの現場で実践できる子ども支援」を考える機会を目指します。

開催日時

2024年3月10日(日) 13:00～15:40

開催方法

Zoom開催

終了後支部例会 15:45～16:45

対象

- ① ASW協会会員
- ② アディクション領域や依存症問題のある親と暮らす子どもに興味がある非会員

参加費

ASW協会会員 無料
非会員 1,000円

お申込みは Peatix にてお願いします。

URL <http://ptix.at/9ZD7Li>

お申込み期間：2月15日(木)～3月3日(日)

※非会員の方で、研修日前に ASW協会の入会申請手続きを行った方の参加費は無料となります。

※開催日当日における参加者側の Zoom 接続不具合や通信トラブル等について、事務局では対応できません。



【連絡先】aswkochi@yahoo.co.jp 板倉(家族相談室ドラセナ)

プログラム

13:05~14:00 (50分)

①講義 家族システム論を超えて

AC・虐待介入・ヤングケアラー・COPMIまで、

こどもの影響や支援を考えるキーワードを中心に

講師：山本由紀（国際医療福祉大学 遠藤嗜癖問題相談室）

14:10~15:40 (90分)

②ミーティング 私の実践語り亭

家族支援の中で、こどもの支援どうしてる？グループワークからアクションへ

コーディネーター：橋本久美子（母子生活支援施設 ポルテあすなろ）

家族支援という名のなかに、こどもという存在は直接見えない存在です。影響があるとわかっているにもかかわらず、どうしていったらよいのか。家族の中でふりまわされつつ、自身からはどうにもできずに「親ガチャ」などと言ってあきらめるという、こどもは抑圧された状況にいるのかもしれませんが。ASW協会はACということばが紹介された早々1991年に「親子ゆえーアルコール症者のこども達」という手記を出版してこどもの思いを紹介していますが、その後30年、現状はどうでしょう。こども支援の現場との直接のネットワークも不十分なのですから、まずはそれぞれの立ち位置で考えていること、試みていることを語り合い、まなざしから確かな対象へと意識することから始めたいと思います。

支部例会

15:45~16:45 (60分)

関東甲信越支部会員対象